

# ミニ講座 1.27

令和5年1月27日に、長崎大学の森野先生、附属小学校の1年学年主任を講師に迎え、「幼児期から児童期へ」～幼小接続の立場から～というテーマでミニ講座を行いました。

はじめに、本園教頭が幼稚園教育は小学校教育の基礎となっていることや附属幼稚園で行っている自由保育の意義、自由保育だからこそその学びについての話をしました。

小学校教諭からは、附属小学校入学が「はじめの一步」ではなく、附属幼稚園の教育から続いている「続きの一步」として子どもたちの指導を行っているという話をさせていただきました。附属幼稚園で自分の思いを主体的に表現する経験が、授業に主体的に向かう姿勢や自分の考えを表出することにつながっているということで、幼小連携がうまくいっていると感じました。

森野先生からは、遊びが中心の幼稚園での学びが小学校での学びにどのようにつながるのかについて、共同研究で行っている調査の結果を基に話をさせていただきました。また、頑張っている子どもに敬意を払い「対話型・共有型のしつけ」を行うことが大切だというお話がありました。

夏に幼小連携会議を開催しましたが、今後も幼稚園・小学校・大学と連携を深めながら子どもたちを育てていきたいと思えます。

